

# PHP新書「地震予報」読者の皆様へ 「No.1778 長期継続大型地震推定前兆変動」 原稿校了後の前兆変動変化についての続報

ハケ岳南麓天文台 電離層モニター観測所 代表：串田嘉男

Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

続報 № 430

2026.01/26 (月曜) 14:00 発表

※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきましてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」には是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁~35頁を参照下さい。

※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

## No1778 続報 直前変動の可能性がある変動（火山近傍地震前兆）を1/24.6 CH26 に観測 上の認識が正しい場合は 3月7日±2日 対応地震発生の可能性有

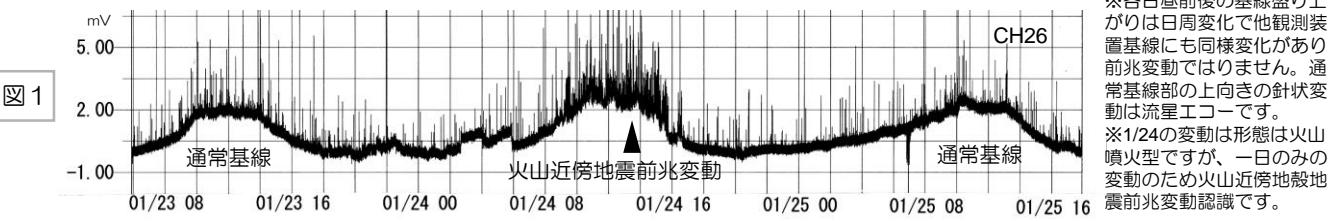


図2 Stage-30 各変動変化時期の前兆変動形態  
初現=PBF特異変動 極大=顕著特異変動 終息=PBF特異・櫛歯変動 直前変動=火山近傍地震前兆変動

計算上初現 (2/10)	極大 (6/27)	推定発生日	使用経験則
	極大 (6/27)	3/8.4±3	Tfap:Tmap=20:13
	極大 (6/27)	3/8.8±3	Tmap:Tpp=3.9:1
	極大 (6/27)	3/6.9±3	Tmap:Tpa=6:1

※各日昼前後の基線盛り上がりは日周変化で他観測装置基線にも同様変化があり前兆変動ではありません。通常基線部の上向きの針状変動は流量エコーです。

※1/24の変動は形態は火山噴火型ですが、一日のみの変動のため火山近傍地殻地震前兆変動認識です。

推定発生日  
3月7日±2日  
3/7 or 3/8 の可能性  
考えやすい

◆No1778長期継続前兆変動Stage-30から、6/27極大に対して、1/25±2時期に直前変動が観測される可能性を記しました。

◆図1のとおり、1/24過ぎを中心にハケ岳のCH26のみに一日だけ変動が観測されました。形態は火山噴火型ですが、一日だけの出現のため火山近傍地殻地震前兆変動です。直前変動はPBF特異または、顕著特異変動・櫛歯変動で出現する可能性を考えておりましたが、図2枠内のとおり、Stage-30の各変動変化時期の変動形態も全て異なる変動種で出現しているため、1/24に出現した火山近傍地震前兆変動は「直前変動」と認識して良いと判断致します。焼岳とは直接関係ない認識。

◆1/24.6に直前変動が出現した認識が正しい場合は、3/6.9±3発生の可能性が計算されます。極大～終息の関係からは3/8.8±3発生の可能性が示唆されますので、推定発生時期としましては、3/7±2の可能性が考えやすい。

●推定領域：図3の点線領域内=大枠推定領域  
太線領域内=可能性が考えやすい  
斜線領域=火山近傍で考えやすい



●推定規模：M8.0±0.3 または複合地震  
複合の場合はM7以上地震の断層長Lkmが  
Log L=0.5M-1.8 (Utsu式)で110~150km  
程度となる様な複合地震活動の可能性  
(例：M7.1±0.3+M7.3±0.3等)

●推定時期：3月7日±2 (最大誤差3月7日±4)  
※3/7±4に初現または極大が出現して、  
次のステージに移行しない場合に限る

○推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震  
○推定発生時刻：午前9時±2 or 午後6時±3 (複合地震では当てはまらない)

各推定内容の根拠は以下のとおり

- 推定領域：各変動の推定影響局位置から経験則を使用して作図し、重複領域を求めて推定  
火山近傍地震前兆が多数観測されたことから、火山近傍領域に震央の一部がある可能性が考えやすい
- 推定規模：13回出現したPBF・ランダウ減衰型BF変動の各出現継続時間計の最長値(h)より  $\log PBF(h) = 0.5M - 1.8$  経験式より推定
- 推定時期：Stage-30の各変動変化時期を時間変化経験則を使用して推定
- 推定地震種：最大30の観測装置に変動出現=陸域地震を示す 長期にわたる変動継続=日本列島の地殻地震を示す
- 推定発生時刻：複数観測された基線幅増大(BT) 変動の日々の共通変化(出現開始・終息) 時刻より推定

※31年間の観測で初めて体験する17年を超える長期継続特殊前兆変動のため、推定に誤りがある可能性は否定困難です。